

地域おこし協力隊 まちと人と過ごした一年



3年間の任期の中で、地域課題の解決や地域活性化に向けた地域協力活動を行う地域おこし協力隊。現在、倶知安町では4名の隊員が活動しています。

1年目の活動を終えた今、隊員は何を思うのか、2年目の意気込みや、その先のビジョンについて聞きました。



「旭ヶ丘総合公園」で
フットバスウォーキング



「倶知安風土館」で
地域の自然や歴史を学ぶ



「はたらく馬がやってくる」
会場でのサポート

こんな活動も
しています

——協力隊としての一年を振り返って、今の気持ちを聞かせてください。

岡本 倶知安がどんな町で、どんな人がいるのかを知ることができました。この一年、吸収することがたくさんありましたが、今後はもっと主体的に行動していきたいと思っています。

三崎 冬の観光が目まぐるですが、この地域の夏の魅力を再確認することができました。この地域の自然環境には多くの可能性があり、まだまだ何かできそうだと感じています。

佐藤 国籍問わずさまざまな人が繋がる場所の一つとして、にほんごサロンをスタートさせました。いろいろ

町民の悩みに寄り添い
少しでも暮らしやすく



「こんな地域になってほしい」
思いを実現できるように

ていくことができたらと思っています。

岡本 雪が解けて春になるとごみが目立つので、みんなでごみ拾いをするイベントができればいいと思います。

栗原 パークゴルフ大会をしてみたいです。子どもから大人まで誰でも参加でき、にほんごサロンと協力すれば、年齢や国籍を越えて交流できる貴重な機会になると思います。

三崎 フットバスウォーキングのような自然の中でのイベントで、子どもたちをはじめ、たくさんの方に、この地域の森や山の魅力を伝えていきたいと思っています。

岡本 それぞれの人脈や活



国籍を越えて
繋がる場所をつくりたい

ろな考えの人がいるからこそ、難しいこともあり、多国籍な繋がり、日本人同士の繋がりも生むことができました。着任時の思いは今も変わらず、サロンの人と人とのあらゆる壁を無くすことに繋がればいいなと思っています。

栗原 もともと住んでいた札幌と倶知安の違い、倶知安の空き家の実態は、ここに住んで初めて見えてきました。住まいに関する悩みを持つ人に来てほしいと新たに始めた相談窓口も、今後は、より相談に来やすいような工夫や、こちらから足を運んで話を聞くような機会も増やしていきたいです。

動の中でできた繋がりを生かし、地域の方々と一緒に、それぞれの得意なことを生かせるようなイベントができればいいと思います。

三崎 そのため、今後もこの町にあるイベントに積極的に参加し、そこでの出会いや繋がりを大切にしていきたいと思っています。

地域の良さを
多くの人に知ってもらいたい



——最後に、隊員みんなで挑戦してみたいことがあれば教えてください。

佐藤 町民、町内の事業者、そして協力隊からなる協議会のようなものをつくり、意見交換の中でまちの声を拾い、協力隊の活動に繋げ

岡本 多くの人に地域の良さを知ってもらいたいので、任期が終わっても観光に携わり続けたいと思っています。二年目以降はその実現に向けた準備として、語学力や必要なスキルの習得などに力を入れていきたいです。

栗原 住宅に関してさまざまな人の話を聞き、自分の力不足を感じました。どのような形になるかわかりませんが、これからたくさんの方々のことを学び、町民の方々の



建設課 総合政策課 観光商工課 (倶知安観光協会) 観光商工課 (倶知安観光協会)
栗原由紀子さん 佐藤礼乃さん 三崎圭美さん 岡本幸太さん